

⑤ 地域コミュニティの中心になっている商店街の取組【旭川銀座商店街振興組合】

旭川銀座商店街振興組合	旭川銀座商店街振興組合街づくりの理念 (昭和61年9月制定)
<p>旭川銀座商店街の歴史は、古く明治末期にまでさかのぼり、大正7年には旭川市で最も古い市場「第一市場」として開設され、市民の台所として親しまれてきた。銀座通りの呼称は、昭和8年「松竹座」から改称した「銀映座」の名に由来しており、組合は昭和39年8月に設立された。</p> <p>○ 所在地：旭川市3条通15丁目左1号 銀座センタービル</p> <p>○ TEL：0166-23-1210 ○ FAX：0166-23-1210 ○ URL：http://blogs.yahoo.co.jp/ginzasyoutengai</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 市民との触れ合いを大切にし、新鮮な情報を提供する街になります ② 夢とやすらぎのある街にします ③ 安全で快適な街にします ④ 楽しさと快感を味わえる街にします ⑤ 手作りによる活気ある街にします ⑥ 清潔でゴミのない街にします ⑦ この街づくりはみんなの力ですすめます

地域コミュニティの中心になっている商店街の取組のポイント

「旭川銀座商店街振興組合」は、町内会や地区市民委員会、神社の集まりなど、地域コミュニティの行事と連携した取組を行ってきました。

最近では、地域コミュニティの取りまとめ役が少なくなったことから、旭川銀座通商店街が地域コミュニティの中心となって、地域の行事やイベントを取り仕切っている取組事例です。

旭川銀座商店街の状況

旭川銀座商店街は、旭川市中心市街地の東部に位置し、赤い鳥居が並び歩行者天国（銀座仲見世通り）を有する地域です。

歩行者天国の通りでは、宝船に乗った開運七福神、弁天神社、七福地蔵が訪れた人の心を癒やし、弁天神社のご神木と、梅の大木も往時を偲ばせています。

商店街の中には3つの市場があり、市内の飲食店の食材供給の場として、道内産を中心とした新鮮な海の幸・山の幸を豊富に揃えています。

取組の背景

近年の経済発展の中で、居住地域のドーナツ化現象、交通体系など都市構造の変化に伴い、業態間や商業集積間の競争が激化している中、消費者ニーズの多様化・高度化、情報化・国際化など、地域経済も環境変化への対応が求められています。

こうした中、商店街には、昭和61年9月に制定された、「旭川銀座商店街の街づくりの理念」があり、現在にも受け継がれています。

また、商店街が位置する大成地区（宮下通から10条通の11丁目から17丁目にかけて59の町内会で構成）の「大成地区市民委員会」や「弁天神社協賛協力会」など、古くから連携している団体があり、地域に根ざした各種イベントなどを協力しながら取り組んでいます。

取組の内容

商店街が連携して取り組むイベントとしては、6月の「銀座弁天まつり」は弁天神社協賛協力会と、地元小中学校や北海道教育大学旭川校の演奏会は同校ありんこクラブと、大成地区女性部による「バザー市」や大成地区青少年育成部の協力による「子供縁日」、旭川校の「焼きそば屋台」の出店などを、地域の関係団体・機関等と協力して行っています。

また、商店街の組合員の飲食店なども出店し、祭りを盛り上げています。

8月には「銀座七夕まつり」と、それに続く「夏祭り盆踊り大会」が開催されますが、本場「仙台七夕まつり」にあやかった「銀座七夕まつり」では、市内のグループホーム・デイサービス事業所等約84か所の協力による個性豊かな手作りの飾り付けが祭りを彩っています。

平成28年で55回目を迎えた「盆踊り大会」は、大成地区が実施する大会で、地域と一体になって取り組んでいます。

また、市民の台所として親しまれている、新鮮な食材が豊富に揃う旭川銀座商店街の魅力を再発見してもらうため、毎年1月の最終土曜日に旭川市の協力を得ながら開催される「銀座食べマルシ

エ」を開催しています。

食べマルシェには、商店街の飲食店に加え、商店街から食材を仕入れている市内の飲食店も出店しています。

また、食べマルシェでは、「旭川市調理師専門学校」の学生たちが、商店街で販売している果物の中から厳選した食材で作る、食べマルシェオリジナルの「コラボスイーツ」を提供しています。

地域教育への協力の取組では、中学生の「職場体験」や高校生の「インターンシップ」にも積極的に取り組んでいます。

事務局員の知人の高校の教諭からの相談が始まりの「職場体験」ですが、今では学校からの協力依頼を商店街事務局が受けて、事務局が各商店との調整を図って対応しています。

高齢者向けの取組では、平成 26 年度からは、年金支給日に合わせて年に 5 回、旭川市保健所と

共同で「無料健康相談会」を開催しています。

回を重ねるごとに相談者も増えてきており、商店街の組合員の健康管理にも一役買っています。

今後の展開

旭川銀座商店街では、地域住民や各種団体との協力のもと、イベントをはじめ様々な取組を行っています。

一方で、イベントは一過性で、夜間の開催が多い上に、イベントだけでは各商店の売上には直接結びつきにくい側面もあります。

イベントの開催が商店街の各商店の売上に結びつくよう、これまでの取組を工夫し、今後、商店街の活性化を推進するために、学生など若い人たちの力を活用するなど、様々な団体・機関等との連携をさらに広げていくこととしています。